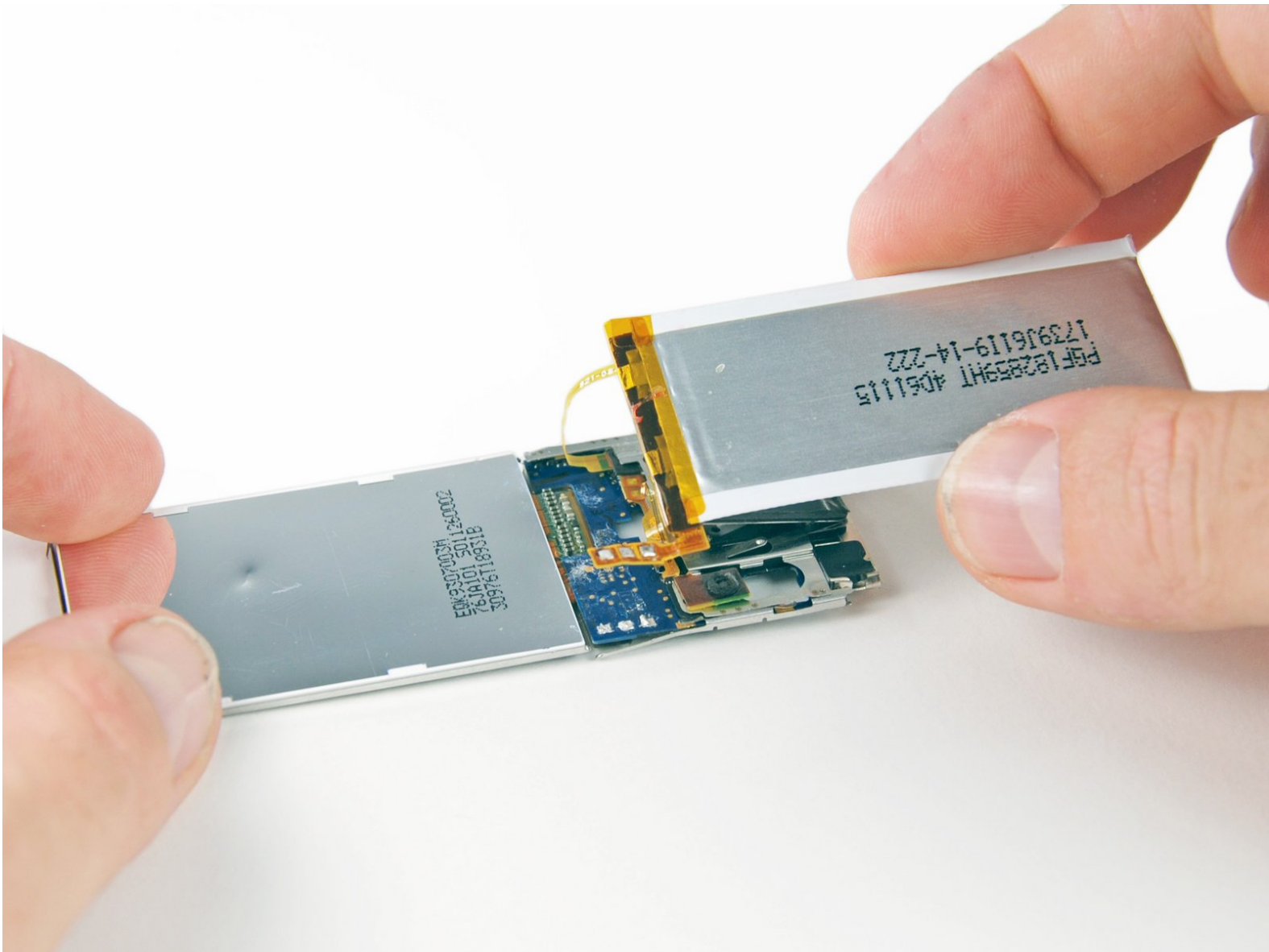




iPod Nano 第5世代のバッテリーの交換

お持ちの第5世代iPod Nanoに電力を取り戻しましょう。

作成者: David Hodson



はじめに

お持ちの第5世代iPod Nanoに電力を取り戻しましょう。

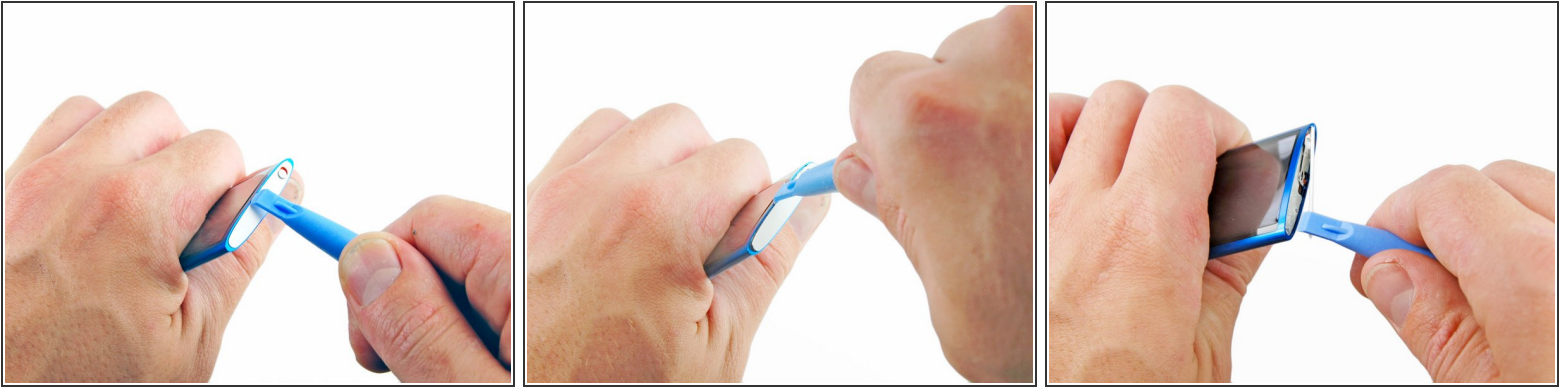
ツール:

- [Heat Gun](#) (1)
- [iFixit開口用ピック\(6枚セット\)](#) (1)
- [メタル製スパッジャー](#) (1)
- [プラススクリュードライバー\(#00\)](#) (1)
- [Push Pin](#) (1)
- [スパッジャー](#) (1)
- [ピンセット](#) (1)
- [iFixit開口ツール](#) (1)
- [半田付けステーション](#) (1)

部品:

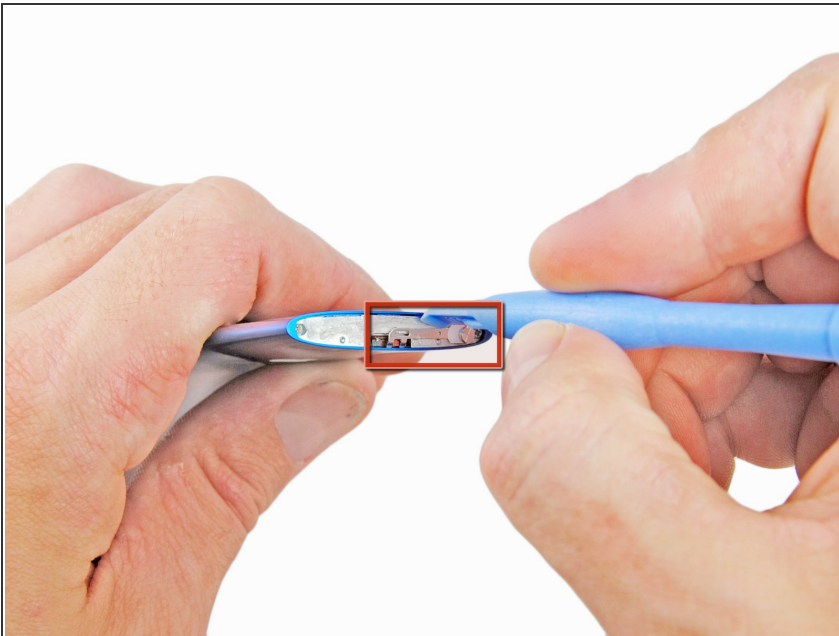
- [iPod nano \(5th Gen\) Replacement Battery](#) (1)

手順 1 — ガラスパネル



- スクリーンの付近の上部ベゼルとアウターケースの間にiPod開口ツールを挿入してください。
 - デバイスの上部パネルを丁寧にiPod開口ツールで持ち上げます。
- ⓘ ベゼルは接着剤で固定されているため、除去するには若干の力を必要とするかもしれません。

手順 2



- iPod開口ツールを使って、ホールドスイッチプレートのホールドスイッチボタンを引き離します。

手順 3



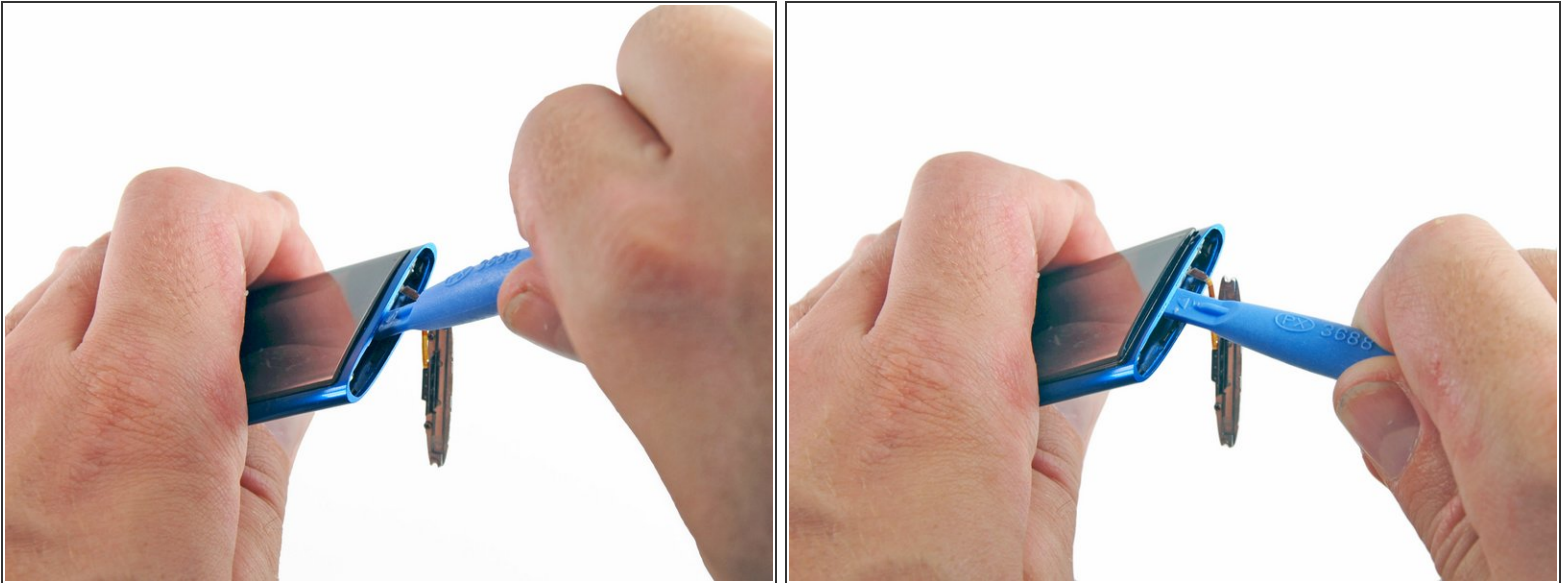
- 2本の3.2mmのネジを取り外してください。
- ⓘ これらのネジは、アウターケースに対して斜めになっていて、非常に小さいものです。鋭いドライバーを使って、ネジの頭をつぶさないように注意してください。

手順 4



- スクリーン上部付近のアウターケースとメタル製ホールドスイッチプレート間にiPod開口ツールを挿入してください。
 - iPod開口ツールをわずかに持ち上げている間、ホールドスイッチプレートをiPodから引き抜いてください。
- ⚠ ホールドスイッチプレートは、非常に細くて裂けやすいリボンケーブルによって、iPodに装着されています。それを壊さないように注意してください。

手順 5



- ⓘ ガラスパネルは、4方面に留められた接着剤で固定されています。以下のステップでは、ガラス及び液晶パネルを割らないように、慎重に引き離してください。
- デバイス上部のディスプレイとガラスパネルの間にiPod開口ツールを差し込んでください。
 - デバイスの裏側に向けてiPod開口ツールの持ち手を動かし、アウターケースからガラスをわずかに持ち上げます。
- ⚠ ガラスパネルを、あまり上に持ち上げないでください。この時点では、まだ完全にパネルを外さないでください。ディスプレイスクリーンにダメージを与えてしまいます。

手順 6



- 1つのiPod開口ツールでスクリーンを持ち上げている間、ガラスパネルの OUTER ケースと左上端の間にもう1つのiPod開口ツールを挿入してください。
- デバイスの上部で、ガラスとLCDの間から最初のiPod開口ツールを取り外してください。

手順 7



- iPod開口ツールでわずかに上に持ち上げ、スクリーン右側の前面パネルと OUTER ケースの間に2番目のiPod開口ツールを差し込みます。
- 接着剤を除去するため、パネル右端に沿って開口ツールを差し込み、2番目のiPod開口ツールをすべらせてください。

手順 8



- ガラスとアウターケースの間に一枚目のiPod開口ツールを差し込み、2枚目のiPod開口ツールをフロントガラスと外ケースの左側の間に挿入してください。
- 接着剤を除去しながら、デバイス底部に向けてiPod開口ツールをすべらせてください。

手順 9



- ガラスをiPodの上部に最も近い側から持ち上げて、Nanoからガラスパネルを除去してください。

手順 10 — クリックホイール



- ヒートガンを使って、iPodの底側のプラスチック製ベゼルの下に留められた接着剤をほぐします。

⚠ 低温設定を使って、プラスチック製ベゼルが融けないように、ヒートガンを長時間あてないでください。

- プラスチック製開口ツールを使って、iPodのケースからベゼルを持ち上げて外します。

手順 11



- iPodの底側から3本のネジを外します。

- 4.4mm傾斜プラスネジ 2本
- 5.4mmプラスネジ 1本

i これらのネジは、ひとりでに落下する恐れがあるので、リテーナーを取り外すときに紛失しないよう確認してください。

- プラスチック製開口ツールを使って、iPodの底側からメタル製リテーナーを持ち上げて、取り外します。

手順 12



- ドックコネクタのちょうど上のiPod底側にあるスロットに、メタル製スパッジャーを差し込みます。
- メタル製スパッジャーを使って、クリックホイールの底部端を持ち上げます。

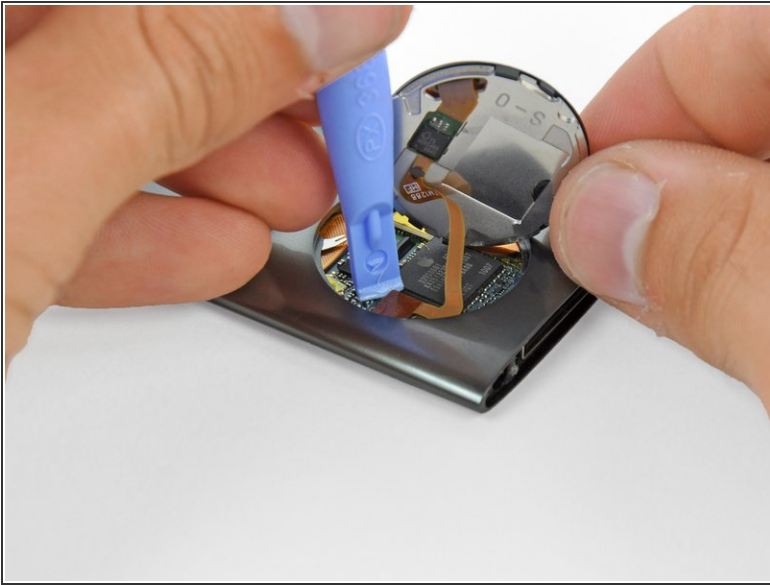
手順 13



- クリックホイールとNanoのケースの間にギターピックを差し込み、メタル製スパッジャーを取り外します。
- ギターピックを使って、ケースからクリックホイールが解放されるまで、クリックホイール端を持ち上げます。

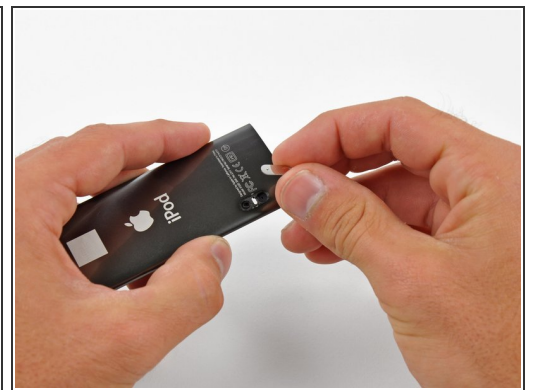
⚠ クリックホイールを完全に取り外さないでください。リボンケーブルで固定されています。

手順 14



- 作業の邪魔にならないようクリックホイールを片手で持ち上げて、プラスチック製開口ツールを使って、ロジックボード上のソケットからクリックホイールリボンケーブルのコネクタを持ち上げます。
- クリックホイールを取り外します。

手順 15 — ロジックボードアセンブリ



- ヒートガンを使って、カメラ/マイクカバーの下に留められた接着剤を柔らかくします。
- メタル製スパッジャーを使って、ケースからカメラ/マイクカバーをこじ開けて、取り外します。
- ❗ カメラ付近のiPodケースにダメージを与えないようにすることは、不可能ではなくとも、極めて難しいです。この作業は、iPodの機能には影響しませんが、外観は損なわれます。

手順 16



- バッテリーに固定された接着剤を除去するため、iPod上部の外ケースとバッテリーの間にメタル製スパッジャーを挿入してください。

⚠ バッテリーに穴をあけたり、突いたりしないようご注意ください。これが原因でバッテリーが引火する恐れがあります。

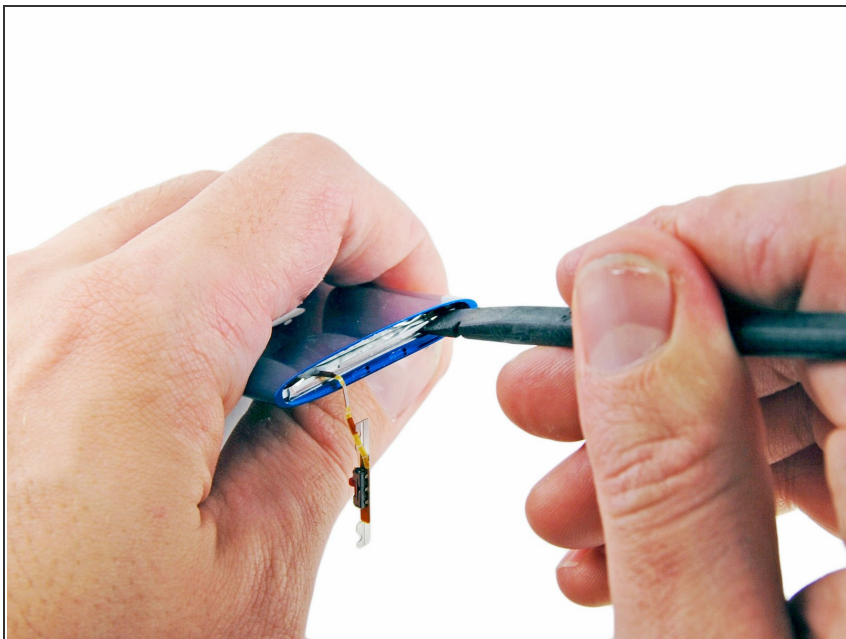
手順 17



① カメラとマイクの間に、内部コンポーネントがスライドするのを防止するための小サイズの白のリテーナーがあります。

- リテーナーの角にある穴にプッシュピンを差し込み、ケースから持ち上げます。

手順 18



① リテーナーを押し込んでアウターケースの穴を通せば、リテーナーを押し込むためのスパッジャーは不要になります。

- ゆっくりと一定の力でLCDの上部を押し、ロジックボードアセンブリをiPodの底部からスライドして出します。

⚠ バッテリーを押さないでください。バッテリーに穴が開き、発火する恐れがあります。

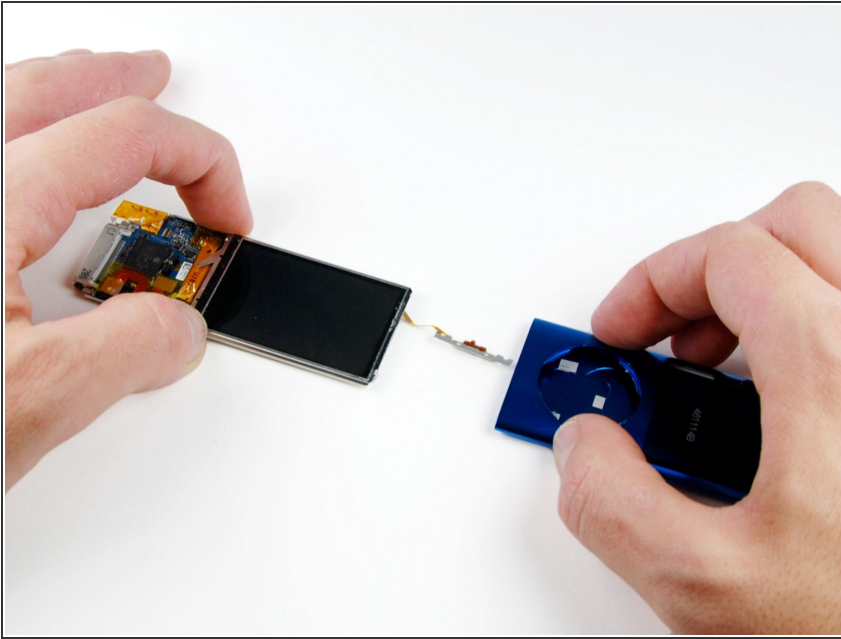
① ホールドスイッチのプレートが端に引っかかってリボンケーブルが破れないように、常に気を付けてください。

手順 19



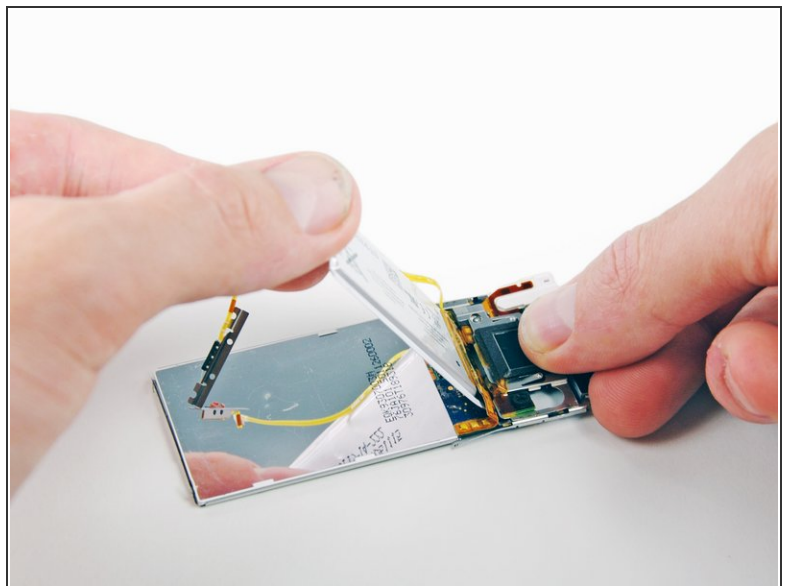
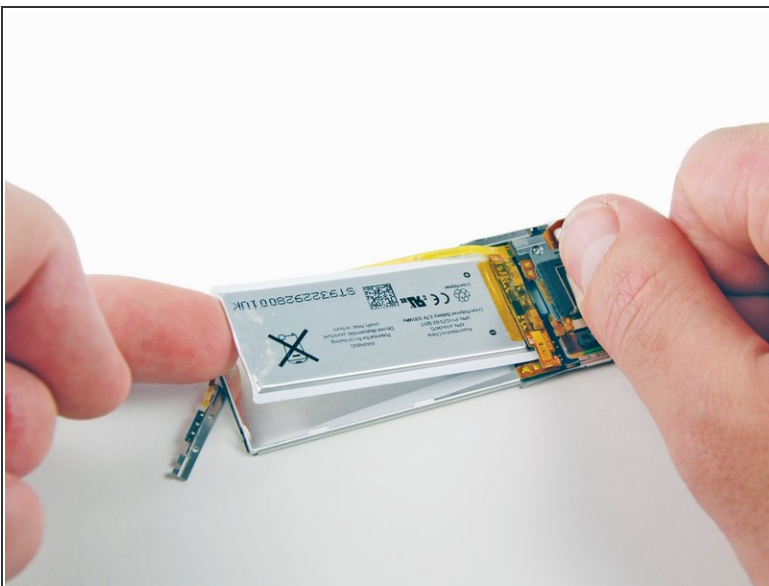
- 引き続き、ロジックボードアセンブリをiPodの OUTER ケースに通して、スパッガーで押し込んでください。
- ⓘ Nano 内部は非常にタイトです。ロジックボードアセンブリを取り外す際は、根気よく、ゆっくりと行い、コンポーネントやリボンケーブルがケースに引っかからないようにしてください。
- ⓘ ホールドスイッチのプレートがiPodの筐体に引っかかってケーブルが破れないように、開口部に最も広い中央部にまっすぐ通します。

手順 20



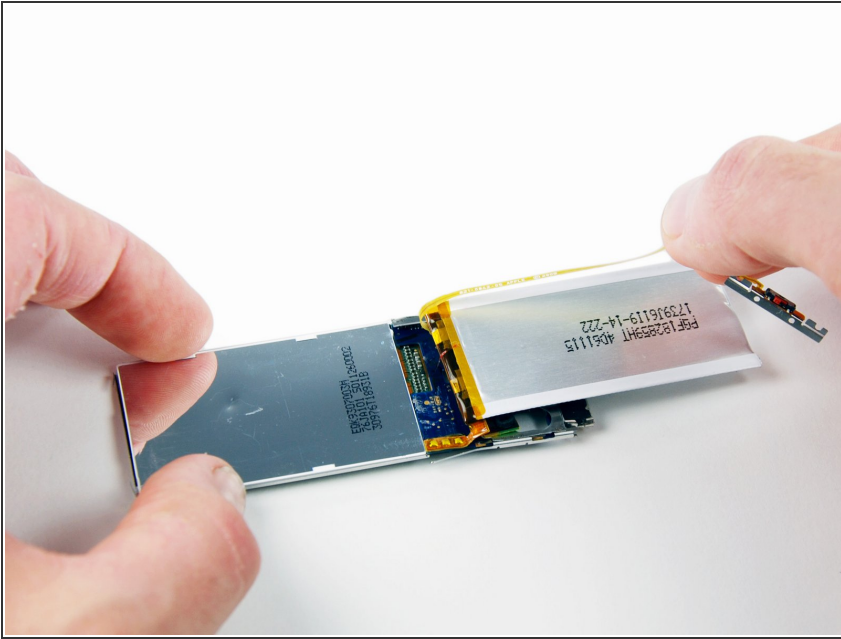
- LCDの上部がアウターケースの下端をクリアしたら、ロジックボードアセンブリをiPodの本体から取り外します。
- ❗ このとき、ホールドスイッチのプレートがクリックホイールの穴の底に引っかからないように注意してください。

手順 21 — バッテリー



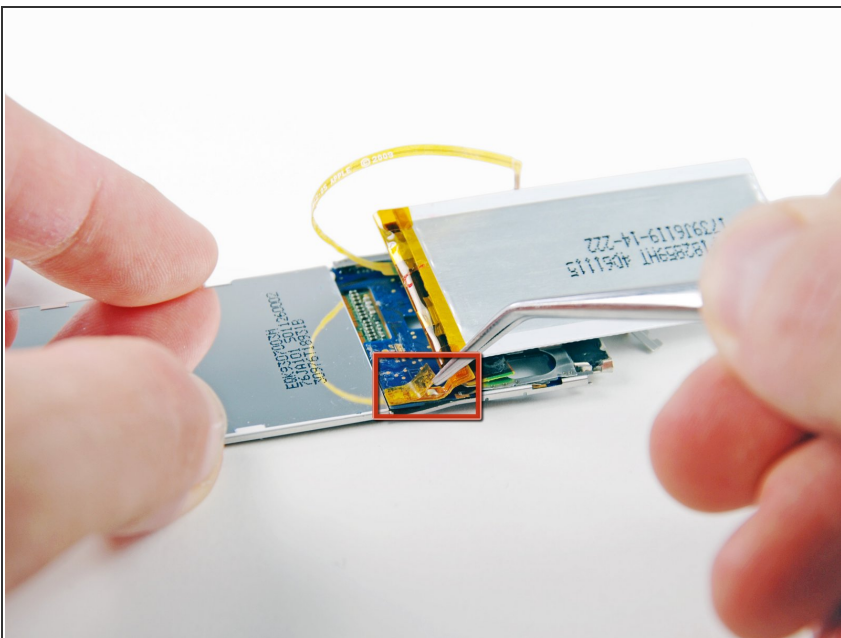
- 指を使って、LCDの背面上部からバッテリーを慎重に持ち上げます。

手順 22



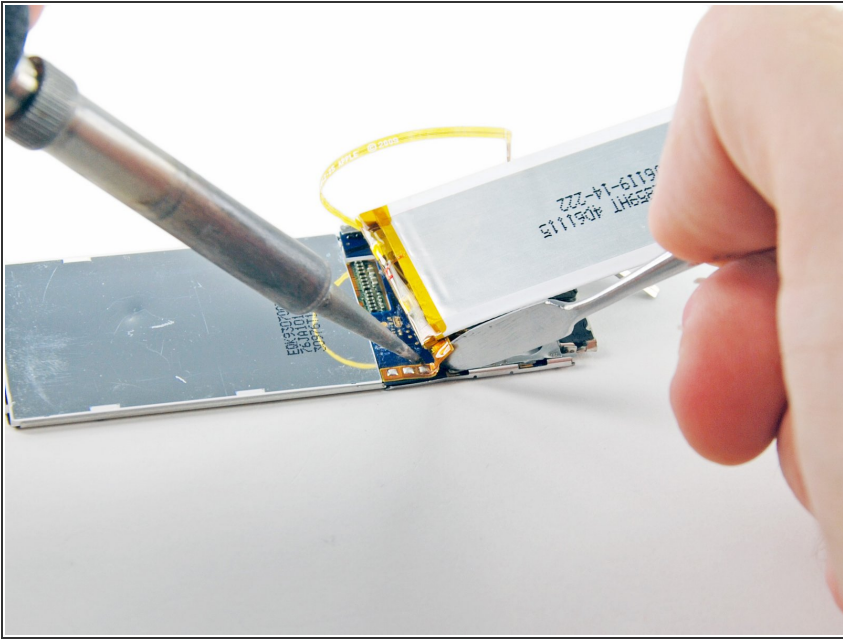
- バッテリーを裏返し、オレンジ色のホールドボタンリボンケーブルがバッテリーの下側に見えるようにします。
- バッテリーからホールドボタンのリボンを剥がします。
- ① デリケートなリボンケーブルは接着剤で装着されています。これを切断しないように気をつけてください。

手順 23



- ピンセットを使って、バッテリーの3つのはんだ接合部を覆っているオレンジ色のテープを剥がします。

手順 24



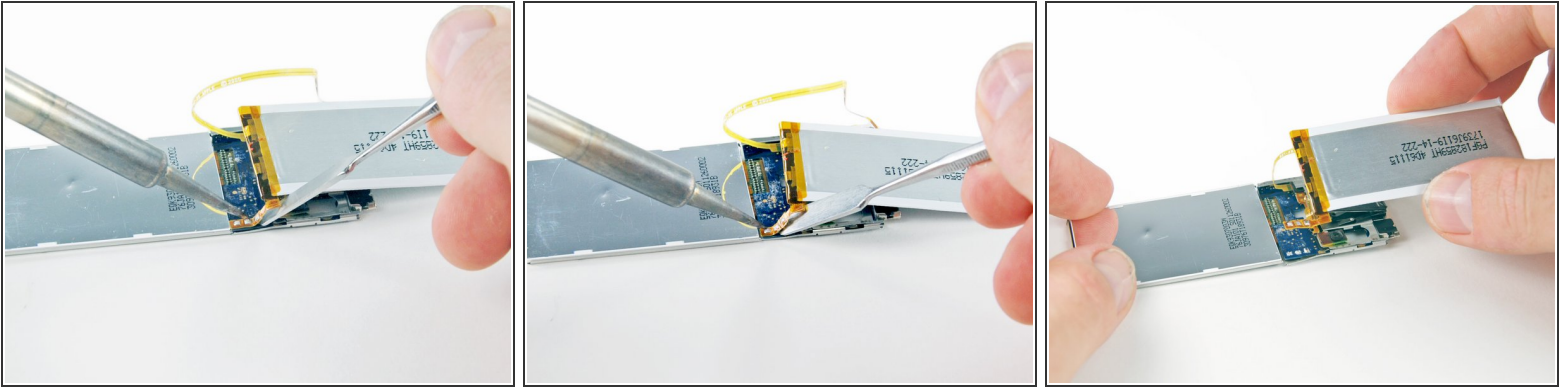
① Nano のバッテリーは、バッテリーリボンケーブルを通った小さな穴の開いたハンダパッドを介して、ロジックボードの表面にあるフラットパッドに取り付けられています。この手順では、金属製のスパッジャーを使ってロジックボードからこじ開けながら、ハンダパッドを個別に加熱します。

⚠ 基板とリボンケーブルのはんだパッド間の接続をスパッジャーで繋がないでください。ショートしてロジックボードを破損する可能性があります。

⚠ 基板やケーブルの過熱に注意してください。コテ先をパッドに当てるのは、はんだが溶ける程度にとどめてください。過剰な熱の蓄積は、ロジックボードの破損やリボンケーブルの溶損を招く可能性があります。

- バッテリーリボンケーブルの右側から作業を開始します。リボンケーブルの下からゆっくりと持ち上げて基板から離しながら、右端のハンダパッドを加熱してください。

手順 25



- 前の手順を繰り返して、2つの残りのハンダパッドを右から左に作業します。
- 3つの接続が外れたら、バッテリーを持ち上げてロジックボードから外します。

デバイスを再度組み立てるには、この説明書の逆の順番で組み立ててください。